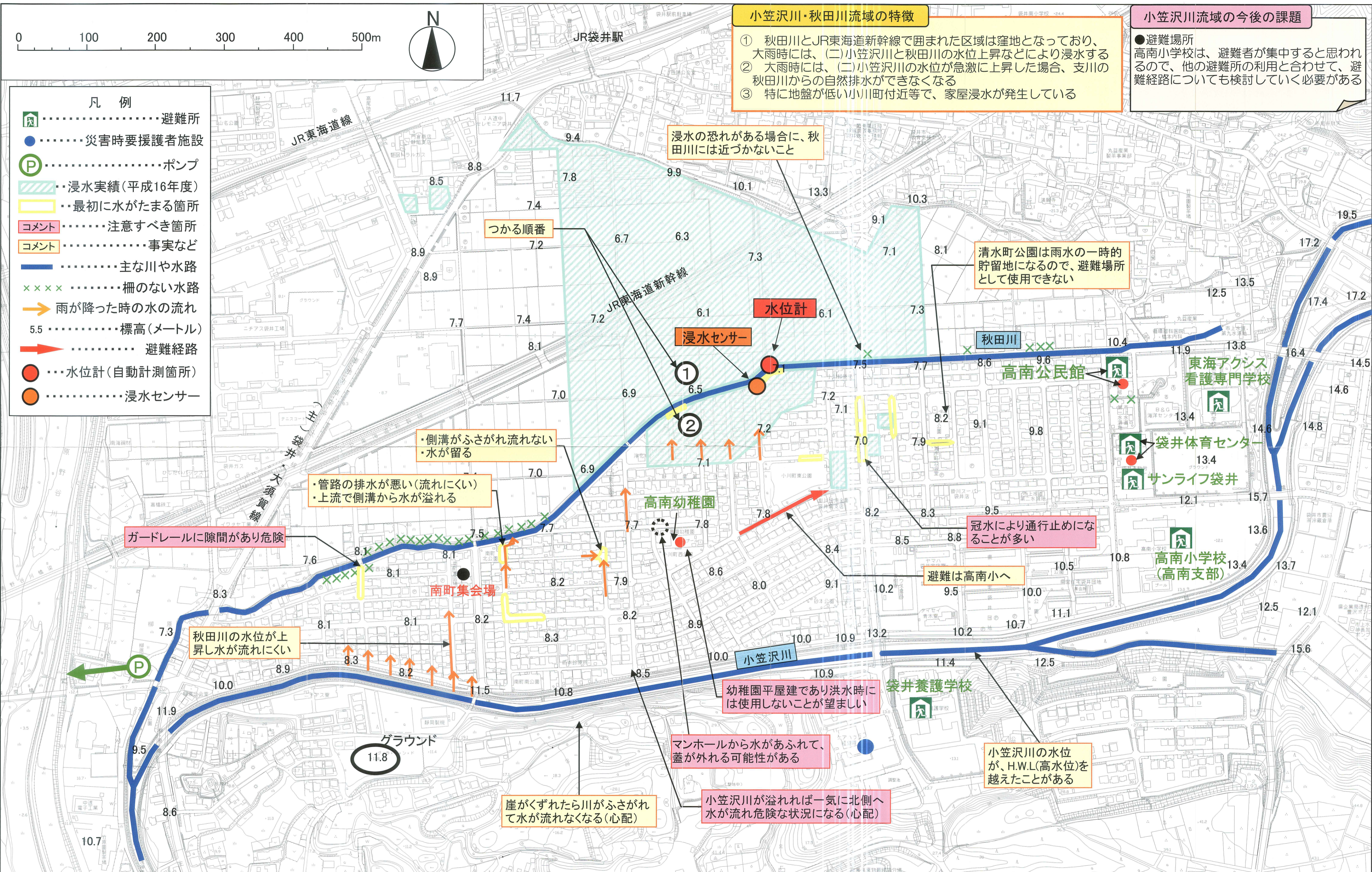


袋井市小笠沢川流域水害版手作りハザードマップ



小笠沢川・秋田川流域の特徴

- ① 秋田川とJR東海道新幹線で囲まれた区域は窪地となっており、大雨時には、(二)小笠沢川と秋田川の水位上昇などにより浸水する
- ② 大雨時には、(二)小笠沢川の水位が急激に上昇した場合、支川の秋田川からの自然排水ができなくなる
- ③ 特に地盤が低い小川町付近等で、家屋浸水が発生している

小笠沢川流域の今後の課題

- 避難場所
高南小学校は、避難者が集中すると思われるので、他の避難所の利用と合わせて、避難経路についても検討していく必要がある

凡例

- 避難所
- 災害時要援護者施設
- ポンプ
- 浸水実績(平成16年度)
- 最初に水がたまる箇所
- 注意すべき箇所
- 事実など
- 主な川や水路
- 柵のない水路
- 雨が降った時の水の流れ
- 標高(メートル)
- 避難経路
- 水位計(自動計測箇所)
- 浸水センサー

※このマップは平成23年1月27日の水害図上訓練で作成したものです。(参加自治会:南町、小川町、清水町)
今後、浸水被害の発生や事業実施状況に応じて、適時修正を行っていきます。